

## 外来機等の飛来・訓練及び基地機能強化に反対する意見書

平成25年1月14日、米空軍は、F22Aラプター戦闘機12機を4か月間の予定で嘉手納基地に配備した。これまでの度重なる嘉手納町議会の配備中止の抗議を全く無視した暴挙と言わざるを得ない。時期を同じくして他外来機の飛来も増え、爆音増大、排気ガスの異臭は尋常ではないところまで達している。

今年に入ってから屋良地区における爆音発生回数・最高値は、1月で3,934回、1月15日(火曜日)13時11分に103.6デシベル、平均値約94デシベル、2月で2,816回、2月12日(火曜日)14時49分に100.5デシベル、平均値88デシベル、3月(24日現在)で2,649回、3月12日(火曜日)19時に103.7デシベルを記録。平均値約95デシベルというデータが示すように、町民は劣悪な環境下での生活を余儀なくされている。

このような中、3月14日、嘉手納基地を離着陸した、FA18戦闘攻撃機が2度にわたる訓練でクラスター弾計12発を沖縄近海で投下したとみられるとの報道があった。これまでも、嘉手納町議会は、同型機による同弾の沖縄近海で投下された訓練に対して強く中止を求めてきたが、いまだ米軍は傲慢にも訓練を継続する姿勢を崩してない。まさに、町民を愚弄するのも甚だしい限りである。このような嘉手納町民の切実な改善要求を無視する米軍、日米両政府に強い憤りを覚え、強く抗議するものである。

更に、嘉手納以南の基地返還が具体的に動き始めようとしている中、嘉手納基地が一層強化されていることは極めて憂慮すべき事態である。

よって、嘉手納町議会は、町民の生命、安全、財産、生活環境を守る立場から下記事項の速やかな実現を図るよう強く要求するものである。

### 記

- 1 F22Aラプター戦闘機等外来機の飛行訓練は、いかなる理由があるにせよ中止すること。
- 2 FA18戦闘攻撃機による大量殺傷を目的とした非人道的兵器「クラスター弾」の使用をやめ、同爆弾を嘉手納基地から撤去すること。
- 3 嘉手納基地の負担軽減を速やかに実施し、これ以上の機能強化をやめること。
- 4 「騒音防止協定」を厳守し、爆音被害の解消策を確立すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年3月27日  
沖縄県嘉手納町議会

## 外来機等の飛来・訓練及び基地機能強化に反対する抗議決議

平成25年1月14日、米空軍は、F22Aラプター戦闘機12機を4か月間の予定で嘉手納基地に配備した。これまでの度重なる嘉手納町議会の配備中止の抗議を全く無視した暴挙と言わざるを得ない。時期を同じくして他外来機の飛来も増え、爆音増大、排気ガスの異臭は尋常ではないところまで達している。

今年に入ってから屋良地区における爆音発生回数・最高値は、1月で3,934回、1月15日(火曜日)13時11分に103.6デシベル、平均値約94デシベル、2月で2,816回、2月12日(火曜日)14時49分に100.5デシベル、平均値88デシベル、3月(24日現在)で2,649回、3月12日(火曜日)19時に103.7デシベルを記録。平均値約95デシベルというデータが示すように、町民は劣悪な環境下での生活を余儀なくされている。

このような中、3月14日、嘉手納基地を離着陸した、FA18戦闘攻撃機が2度にわたる訓練でクラスター弾計12発を沖縄近海で投下したとみられるとの報道があった。これまでも、嘉手納町議会は、同型機による同弾の沖縄近海で投下された訓練に対して強く中止を求めてきたが、いまだ米軍は傲慢にも訓練を継続する姿勢を崩してない。まさに、町民を愚弄するのも甚だしい限りである。このような嘉手納町民の切実な改善要求を無視する米軍、日米両政府に強い憤りを覚え、強く抗議するものである。

更に、嘉手納以南の基地返還が具体的に動き始めようとしている中、嘉手納基地が一層強化されていることは極めて憂慮すべき事態である。

よって、嘉手納町議会は、町民の生命、安全、財産、生活環境を守る立場から下記事項の速やかな実現を図るよう強く要求するものである。

### 記

- 1 F22Aラプター戦闘機等外来機の飛行訓練は、いかなる理由があるにせよ中止すること。
- 2 FA18戦闘攻撃機による大量殺傷を目的とした非人道的兵器「クラスター弾」の使用をやめ、同爆弾を嘉手納基地から撤去すること。
- 3 嘉手納基地の負担軽減を速やかに実施し、これ以上の機能強化をやめること。
- 4 「騒音防止協定」を厳守し、爆音被害の解消策を確立すること。

以上、決議する。

平成25年3月27日  
沖縄県嘉手納町議会